

2025 年 9 月 22 日  
一般社団法人日本パレット協会事務局

## アジアパレットシステム連盟(APSF)20 年目の総会実施

11 カ国で構成するアジアパレットシステム連盟（略称 APSF、会長:Byong-Yoon Suh 韓国パレット協会会長）は 9 月 18 日、韓国・ソウル市内のホテルにて第 20 回年次総会を実施し、10 カ国から 101 名が参加した。

APSF は 2006 年、日中韓のパレット協会を中心に 10 カ国で発足し、2007 年には T11 型と 12 型をアジアの標準パレット規格と定め物流標準化を進めている。但しアジア各国の政治、経済状況は区々であり一部に対立も生まれている。これを踏まえ会長や事務局、参加各国からは「共存共栄」をキーワードとした挨拶、コメントが多くみられた。

APSF 副会長を務める二村篤志氏(日本パレット協会会長)からは、日本における 2024 年問題解決に向けた官民連携での取り組みや法改正を紹介すると共に、少子高齢化はアジア各国の今後の課題であるとして、協会が発足以来 61 年進めている近隣諸国との物流連携「アジア善隣物流」を今こそ進めていくべき、と強調した。

日本からは協会及び会員から 5 名が出席した。加盟各国からは 2023 年に策定したパレット普及、標準化に関わる「ロードマップ 2030」の進捗状況が発表され、日本の宿谷専務理事からは直近のパレット生産統計とレンタルパレット保有数量の推移から、今後官民及び荷主との連携・協力をさらに強化する必要性が報告された。

参考：APSF 加盟国は、韓国、日本、中国、マレーシア、タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナム、ミャンマー、インド、カンボジアの 11 カ国。なおインドは欠席、カンボジアは新たな加盟国



<お問い合わせ>

一般社団法人日本パレット協会 事務局 電話 03-6548-5580 info@jpa-pallet.or.jp